京城日報

○米國協商側商議事項

大統領の宣言と極東問題

政府に親しき某新聞の報道する處に依れば米國政府の英國外相に佛國法相一行と商議す可き事項次の如し

(一)速かに獨軍事組織を屈服せしむる一般方策及び世界永久平和を確保する爲めの協約(二)米海軍力及び種類に依り世界力の程度(三)財政上速かに協商側諸國を援助する方法及び程度(四)英國及び同盟國と共に兵器材料及び食糧を確實に供給の方法(五)米國及び英佛官憲の判斷にて最も効果を奏げ得可き任務に對し速かに米國海軍力を配置すること

而して大統領ウイルソン氏は之と短評の發會宣言を發表したるが同宣言は中佛土擁張國民的膨脹の計畫には同情せざる事を明かにせり宋る發會に於て大統領は此信念を力說し且つ列國協同の世界共通平和の爲め努力す可し極東問題亦識題となる可く日本及び支那は其々自國將來を開拓するに何等他國の干渉を受けざる程度のものなること米政府が從來言明せし通りなる可し＝米國發表筋著電＝(東京特電)

○獨逸皇帝讓位說

獨逸皇帝は獨逸帝國及びホヘンツオルレン家を救ふ爲め讓位を決心せりとの說あり(倫敦電報)

○支那內閣危機迫る

支那農商總長及び司法總長辭意あり今や段內閣の危機迫れり、北京電報)

○徐內閣組織されん

段內閣瓦解し徐世昌內閣新に組織さるべしと何へらる(北京電報)

○秋元興朝子去

子爵秋元興朝氏は久しく胃腸病にて療養中の處二三日前更に腸炎を併發し經過宜しからず二十二日夜終に薨去せり(東京特電)

○東洋捕鯨社債

東洋捕鯨會社社債百萬圓を大阪現物團より賣出せり(大阪特電)

○大屋長官歸鮮

大屋鐵道局長官は廿三日朝入港高麗丸にて釜山上陸同十時卅分發列車にて歸任の途に就きたり(釜山特電)

○南博士軍醫監著釜

南博士は廿四日朝入港高麗丸にて釜山上陸同十時卅分發列車にて歸任の途に就きたり(釜山特電)

○參謀長會議

全國各地團、朝鮮駐劄軍、竜灣總督府、關東都督府並に青島守備軍の各參謀長を召集せる參謀長會議は二十三日午後一時より參謀本部にて開會し上原總長の訓示あり次で幕僚學務の打合せありて散會せり(東京特電)

○總督一行出發

長谷川總督は既記の如く釜屋武官、齋藤副官、神田秘書官、藤波通譯官等を隨へ宇佐美內務部長官、古海警務總長帶同二十四日午前十一時四十分南大門驛發特別列車にて成鏡道巡察の途に就けり、一行は元山著後直ちに光濟丸に搭乘西湖津に向よ

○問島方面視察

宇佐美內務部長官は清津にて總督一行に分れ會寧及び問島方面の視察を爲し五月八日頃歸任の筈なり

○德富上院議員

貴族院議員德富猪一郎氏は合息英雄氏同伴の上廿四日夜當地通過東せり(大阪特電)

○鮮內の乳用牛

總督府の調査に依れば大正五年末現在鮮內乳用牛の總數は各道を通じ牡六十七頭、牝五百四十一頭、計六百七頭にして其の內外國種は牡二十二頭、牝百二十七頭、計百四十九頭、外國種と內地種又は朝鮮種との雜種は牡三十三頭、牝二百九十六頭、計三百二十九頭、朝鮮種は牡十二頭、牝百十七頭、計百二十九頭なりとす、而して之を前年に比較するときは外國種は六十六頭を增加し、雜種は六十八頭、朝鮮種は二十二頭を減じ總數に於て二十二頭の減少を見たり、之れ雜種又は朝鮮種は比較的牛乳生産能力の勝れる外國種と交換せられたる結果なり又た乳用牛の飼養場數は朝鮮種のみを飼ふもの二十二個所、外國種又は雜種を飼ふもの五十個所計七十二個所を算し內自家用牛乳生産の爲め飼養するもの四個所、乳牛蓄殖を目的とするもの一個所にして搾乳販賣業者の飼養する乳用牛數は一搾乳場平均八頭に當れり是れ朝鮮に於ては概して牛乳の需要少く牛乳販賣上比較的小規模の經營を利とすればなり、今各道別に乳用牛種頭數及び飼養場數を示せば左の如し

	外國種	朝鮮種	雜種	計	飼養場數
慶尚南道	五八	一〇	二〇	九〇	一四
忠清北道	一		一	二	一
全羅南道	一三	五	二九	四五	一一
慶尚北道	一六	二	二三	四八	一一
黃海道	七	二	二四	七四	一一
平安南道	一一	一	一一	二三	一一
平安北道	三一	一	一一	四三	一一
江原道	一七	一	一一	一九	一一
咸鏡南道	一一	一	一一	二二	一一
咸鏡北道	一九	一	一一	二一	一一
計	一四九	二二	一二九	六〇七	一四

○司令官仁川行

喜多參謀司令官東鄕中將は並門副官を隨へ二十四日朝南大門驛發汽車にて仁川に向へり、同日は軍港其他の視察を爲したる上午後七時五十分南大門驛發汽車にて京城に歸着す

○松永長官出張

松永京畿道長官は八日第一今村第二兩部長及び各課の內務記を隨へ二十四日午前九時自動車を驅つて漢城郡各區移轉地視察の爲め出張の由なり

○川崎氏渡歐期

二十一日附を以て歐米に出張を命ぜられたる朝鮮總督府鐵道局技師川崎繁太郎氏は六月上旬出發渡歐の途に就くべし

○小畑氏消息

前東拓參事小畑氏は近日歸鮮の筈なり

○定例長官會議

二十四日は定例長官會議なるより山縣政務總監以下各部長官局長(所屬官署の長等)は午前十時より總督府第一會議室に參集し通常政務に就き協議打合せの上午後散會したり

○朝鮮海峽觀測

總督府にては本年汽船高丸の遭難を機に朝鮮海峽に於ける海洋觀測に著手の豫定なりしが目下の觀測機具未著の爲め未だ開始の運に至らず從來今日に至りたるも同機械は本月末までには到著の筈なれば遲くとも五月上旬より開始の事となる可し

○平南長製造概況

平安南道に於ける荒廢地稻作は目下盛んに著手中なるが昨年度の耕付約二百町歩に增加し今年は一躍四百町歩を超過するに至る

○大田陸地棉增加

大田縣に於ける陸地稻作は目下盛んに著手中なるが昨年度の耕付約二百町歩に增加し今年は一躍四百町歩を超過するに至る

○藤山氏一行來壤期

朝鮮總督府鐵道局技師藤山雷太郎氏は二十三日東京出發渡鮮の途に就きたる旨某所へ入電あり右は同氏一行と落合ひ漢京兩日にて本月末歸鮮すべし(平壤)

○黃州の杞柳栽培

黃州郡黃州邑硯鮮興業會社支店にありては五年以前より同郡沙州面に杞柳の栽培を實行し居れるが成績頗る良好なるより今回新に郡內聖面に約三十萬本の杞柳を栽培する事となり既に內地より苗木到著したれば近く植付に從事すべしと(平壤)

○職工人夫大缺乏

黃三浦に於ける現今の鮮人人夫賃金は平均四十五錢なるが昨今諸事業の新興に伴ひ人夫の大缺乏を來し三菱の十木地とし、其の繁榮を圖り、中心位置の方針に到底變改さるべきものでないと思はるゝから、此の方面に營口が活路を見出す事は先づ不可能であらう

▲それから支那人の鐵利用と云ふ事は逐年多きを致す趨勢にあり、從來馬車で營口に搬出された奧地の大豆等も尙は漸次鐵道に割き取られる傾向は明らかに見ゆる、又今後益々開拓が繁忙となり、取引の敏速を必要とする關係から冬期四箇月も結氷して水運を缺ぎ且つ港灣もよくない營口は、例へば油房事業の如き漸次衰頽の外はあるまい從つて之等の貨物を主とする營口の將來は怎うであるか米貿易は前途樂觀を許されない

▲然らば營口の將來は怎うであるかと云へば、さうでもない、乃ち營口は地の利を利用して將來遼河の以西乃ち遼西地方に其の商勢を擴大し、北方蒙古地方の開拓に伴ひ、層一層活躍するを以て最も適當の觀とする向きもあるが、營口は時に一眼一弛ありとするも漸次尻縮りに縮り行やうな事はなからう、唯在營邦人の現狀は同情に値するに過ぎぬが仲々盛んなもので、其の傾向は今日では二千五百と云ふ少數に減じて賀易も全額の二割弱一千五六百萬圓に過ぎない狀態となつてゐる

▲日本人の營口に於ける勢力は右の如く減退した、併し營口の貿易は比較的に繁盛して油房の如き工場を設けたが既說の如く都督府及び滿鐵の大連倉庫政策の殃ひを受け漸次衰頽退步の外はない

◎法衣姿の光演法主

重なる官民並びに數千人の信徒に迎へられて釜山埠頭に上陸

東本願寺法主大谷光演師は在鮮十數萬信者の熱喜渴仰に迎へられ廿四日宇島の南海岸に其の第一歩を印しぬ法主一行を乘せる高麗丸が

和煦たる春の光を

搭びて釜山港頭に其姿を現はし豫定の如く午前八時四十分第一鐵道棧橋に著けば之れより前棧橋には土井釜山別院輪番以下僧侶京城より出迎へ の大幸京城本願寺別院輪番山口太兵衛氏、和田常市氏及び釜山各宗僧侶

略法衣に呪咀袈裟

を掛けたる服裝にて南條博士を從へて喫煙室に現れ大幸輪番の紹介にて出迎人一同と挨拶を交し南條博士は沼法量、沼波政憲兩錄事大橋醫吾室乘、粟津操大澤宋吉の兩家從を從へ十井大幸輪番の先頭にて棧橋に出で珠數爪繰れる善男善女揃ひの紋付袴に日の丸の國旗を打振りながら郷々として迎へし本願寺階級幼稚園兒等に芳香に合釋しつゝ

用意の一を連れて

稅關前より埋立通を郵便局脇より本町三丁目の坂田文吉氏邸に入り此所にて各宗代表者を接見し終て同家の內佛を拜し同家族並に親近者一同に親敬し一時半より同家に於て午餐を認めたる上午後一時より西町本願寺別院で行はれる親敬に赴かれた尙午後一時より

別院に於て執行の

宗祖遠忌法會に臨み信徒總代世話係佛敎婦人會員其他に御禮一式ありて信徒二百名に對し歸敬式（お髮剃り）を行ひ親敬ありて退座し南條博士は法主の親敬を復演し午後四時一同退法主の親敬を復演し午後四時一同退別項釜山特派員電話の如く大谷光演法主は海上差なく廿四日午前八時四十分釜山鐵道棧橋に上陸せられ同日釜山本願寺に御親敬の後南條博士上兩博士以下の隨員及び迎人を隨へられ二十四日午後十一時釜山發列車に搭乘廿五日午前八時五十分南大門驛著入京せらるゝ事となりたる法主は來る二十八日迄御滯京の筈なるが其の日程は左の如し

▲廿五日午前總督府御訪問午後一時御法要追弔法會講話前庸松林深慧師後席南條博士午後八時勸行講話前席溪內文學士長庸村上博士▲二十六日午前右下西大條南博士▲二十八日午前右下西大門監獄御敎誨復演南條博士階行祝村上博士午後二時四十分御發車

式午後一時庭儀ありて御法要講話士并惠鐘師午後四時半特別講演村上南條兩博士午後五時半御博士午後七時講話朝倉慶友師村上博士▲二十七日午前鮮僧拜謁（村上南條博士）正午鮮敬式午後一時庭儀ありて御法要御親敬復演南條博士午後八時講話村上南條兩博士▲二十八日午前右下西大門監獄御敎誨復演南條博士階行祝村上博士午後二時四十分御發車

右の內廿六日午後四時三十分特別講話は本社主催なり

◎皇后宮

赤十字社行啓

皇后陛下には廿三日午後零時半宮城御出門芝公園なる日本赤十字社本社に行啓ありせらるる同社にては

◆今回初めて

行啓の光榮を仰ぎ奉ることとて朝來穩での準備を終り鑒て定刻に至るや右黑社長を初めとし松平平山兩副社長以下の係員は玄關前に奉迎し午後零時五十分君が代の奏樂裡に玉車著御陛下には御機嫌麗はしく玄關前にて御降車右黑社長の御先導にて樓上なる

◆中央便殿に

入御御少憩の後御先著の總裁閑院宮載仁親王同妃兩殿下に御對顏あり社長副社長以下に拜謁仰付られ社長の御先導にて材料倉庫に成らせられたるが同倉庫內には戰時材料平時天災救護材料各國寄贈參考品等數千點を陳列して御覽に供し社長具に御說明申上げ亞で外科院長より

◆病院の現況

を次に總裁宮殿下より看護婦巡回の現狀を聞し召されたる後病室の患者を御はせられ手術室エッキス光線室ラヂユーム光線透射等を御覽あり午後四時半過御還啓相成りたり（東京特電）

◎朝鮮とは因緣が深い

光演法主喜んで語る

釜山本町阪田氏邸に入れる光演法主を訪へば沼錄事を隨へて記者を應接室に導き坐して曰く『昨夜の航海は至極靜かで乘船後直に事務長の案內で甲板から有明海を眺れる

△關門海峽の風光

を望み色々の說明を聽いて一時間程甲板を逍遙したが其の時の感じです』と俳句を示さる

船中にて

春の夜や出船の銅鑼の音ゆゝ
鷗鳴かず曉夜出船寂しうす
六連陽近にて
燈臺の島の鼠牛酒火の數

△今回で三度目で

あるが船には餘程強いので少しも驚らなかつた船が港に著いた時釜山の山水は非常に美しいと思つたが伸で街を歩いて見ると市街の既く且つ整頓せることは聞いてゐた以上であつた常國新御土の關門であり又我等の志す第一の關敎地として心強く思ふ朝鮮は我が大谷派と因緣淺からぬ地で雄新後も

更に語を次で曰く『我が本土を離れたのは遙羅に渡航した時と上海の別院に行つた時と

△今回で三度目で

◆大連官民有志の視察團歡迎會

十九日午後六時十分ヤマトホテルの大食堂で開催された歡迎會は大連民政署、滿鐵、大連市、商業會議所、四新聞社、支那側官民の發起で非常なる盛會、主人側よりは大內大連民政署長をはじめ官民諸君百數十名の出席でこれに國員一百名と共に約三百名の多數であつた、殊に大連在住支那公館會の人々をはじめ有力なる支那紳商家の多數出席を見たのは日支親交の今日非常なる異彩であつたかくて大內大連民政署長の挨拶に次いで視察團よりは子致英氏の謝辭があり

あり更に

◆大連官民有志の視察團歡迎會

◎法主滯京日程

桃咲くや帆柱の旗居根越しに
物貧乏のイト綾る驛の春雲や
裏は海表案の花暮るゝ家

◎獨逸人日本に歸化

神戸北野町獨逸人アルバート、グレッピーは日本に住居する事五十年にして總て日本生活を爲し妻子家族一門は日本人なるが今回日本歸化を允許さる（大阪特電）

◎八尺の巨虎

一發で射止む

光州居住の金完實は猛獸狩の名人なるが二十三日全羅道祝麗郡同福に槍を奉ひたる虎を追跡し一發の下に射ち止めたり虎は長さ八尺目方四十貫あり（光州特電）

◎演習中に出火

新龍山消防組直ちに繰出す

二十三日午後一時より龍山憲兵隊の消防組頭として渡邊與三郎氏の就任披露を兼ね新龍山消防組の春季消防演習を行ひたる所午後一時半頃

△早くから布敎に

努め今日多數の信徒を得るに至つたのは慶ばしい事と思ふ」而して誤俳句に及ぶや盛んに語り途中貴車中の作なりとて左の數句を示されしは流石に句

山の池山隱閑根に木の寺して

尾の道にて

◎法主滯京日程

◎瓦斯爆發して負傷者六名

汽船仁洋丸（千三百九十五噸）に二十三日午後神戸港にて瓦斯爆發し負傷六名を出せり（大阪特電）

◎談合事件審判

◎流れ者

◎家具類賣盛る

◎精白米引締む

◎綿糸又高し

◎銅價の昨輸送

◎和洋紙類强便

◎軍需米十萬石

◎牛皮は不味

◎麥粉昂騰す

◎銀大豆小戻し

◎北海小豆拂底

◎原料暴騰

◎反動安に

◎一圓落ち

◎米國の價格は依然保合

◎最早賣物

◎我內地銅市場

◎現物變

◎十六手二圓

◎十圓九十錢

◎多分英政府

◎抑壓政策

◎相場益々上進

◎一年中の書入れ時

◎漆器類

◎十錢上

◎前場の手振

◎能く賣る

◎能く賣る

◎能く賣ふ

◎豆の商ひ

◎前場の商ひ

◎豆の商ひ

◎豆の商ひ

◎前場の商ひ

◎豆の商ひ

◎前場の商ひ

◎豆の商ひ

**◎前場

●豚の飼養に

△人間から搾取する油を用ゆる獨軍の實行

獨軍が戰死者より大仕掛にて油を搾取しつゝある事は既報の通りなるが、この無類の實行に就て獸醫學博士須藤養衛門氏は語る『これは英語で調（レンダリング）（化製と譯す）の方法を實行したるもので從來馬とか牛とか或は犬などの家畜類には

◇何處の國でも應用して

居るお人間の屍體をやり纏めたとは驚かざるを得ない、人體から搾取した油が何に用ひられるか實驗した人が表面上無いから分らないが恐らく獨逸の今度の主意は骨粉を得る目的に化製して得たる骨粉は肥料としても用ひられるが、家畜の飼育上に用ひて非常に効果がある、殊に豚には一番効目があつて之れを食べさした豚は大變丈夫になる、懸孕んだ牛などに與へると生れた牛兒の骨格が優良になり又その母牛は乳を搾られる爲めの充實の

◇燐酸石灰質を失ふので

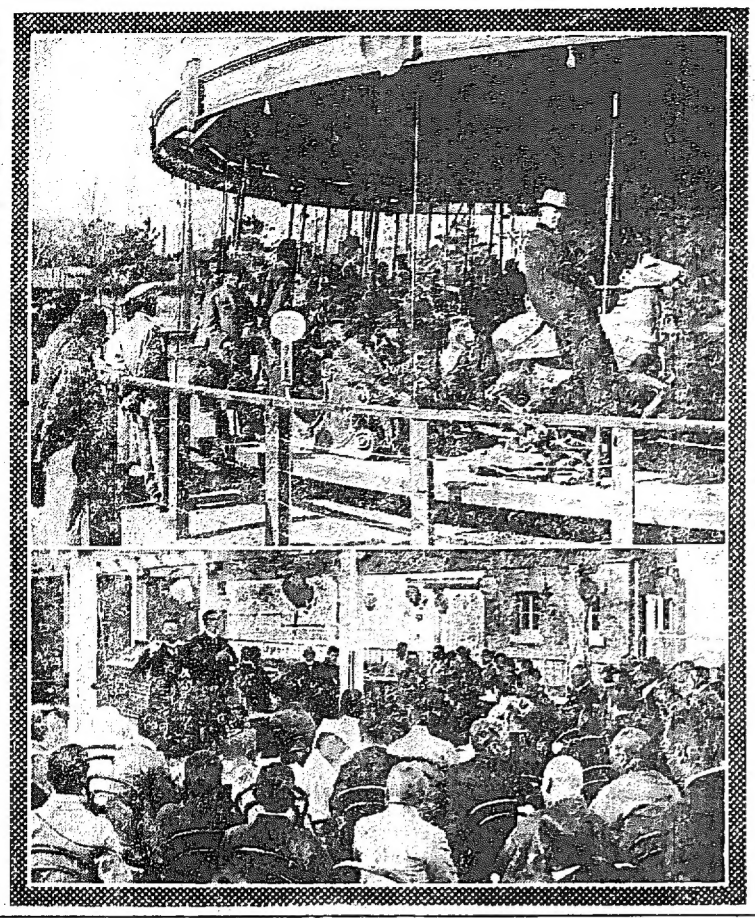
これを供給する爲めや其他犬の骨軟症などにも多く用ひられるが一番用途の廣いのは豚である、その豚肉を食ふ事と馬鈴薯を食ふ事とが殆んど獨逸人には生活の最大要素となつて居るので恰度糧食缺乏の折から命の綱とも頼むべき豚の飼養を奨励にする目的で此の化製法を實施したのであらう、獨逸人とても增産の保護などには特に敬虔の念を拂ふ方であつて人體の化製などは人道上に背く事も辨へて居らしいが只何でも廢物利用呼ばはりの科學國だけに

◇斯んな事をし始めたの

であらう、後の沙翁の著ハムレットに『シーザーの頭腦の一部が大の頭腦の一部になつて居るかも知れない』と云ふ句があるが今や獨逸は之を豚に實際應用し出したと思ふと驚かざるを得ない、殊に之を敵國兵の死骸に行ふことになると宗教上からも非常に聯合軍側の感情を害する事と信ずる』（東京）

◆南北滿洲視察團畫報（六）◇電氣公園の賑ひ（上）

十九日の朝一行は四隻の電車をつられて供奉の電氣公園に遊ぶ、電氣公園は獨逸の紳士淑女の遊園地であれば夫れ式の喫茶店もあり純粹獨逸もあれば獨逸的もある、それに夜の營がほこりぶりめた丘上に立てゝ下の方に樹木の若葉西公園から大連灣の眺望が一眼に見わたる、樹樹も遠かに見わる、それに白帆の點のやうだ、一行は眼の動物園からメリーゴーランドに乘つて眺めながら喫茶する、それにシルクハットですまし込む紳士もあつて場内は非常な大賑はひである（十九日大連電氣公園にて金谷生）



◇大連の講話（下）

◇大連市政の發達と日本人の進出

大連は明治廿七年の五月時から今から十三年前に日本人の手に占領された、廿八年の六月軍政を布かれ第一回の民政署長に今朝鮮總督の陸軍大將長官である、廿九年四月民政を撤廢された四十年間繼續樣式官制が創立されてから大連はめきめきと發展の大海港となつた、只今は人口八萬五千目突人相半はして居る、加之ならず近いよ〳〵人口が增加して工業も亦盛んに起る、輸出入貿易は一億五千萬圓、大大連は益々偉くなる加へ、唱。

○十一時半ホテルに帰り午後一時半ホテル屋上庭園

◎玉葉展覽會

閨秀畫家栗原玉葉女史は既報の如く目下入京南米倉町二百十番地森氏方に滯在中なるが來る二十七、二十八

◎列車に投石

四月十五日午後四時二十五分頃安東縣發の南行急行列車が黃海道南川驛を出發けると間もなく何者か列車に投石したるものあり一等室の窓硝子一枚を破損したるも乘客には幸に異狀なかりしが南川警察署にて取調べの結果附近の李明仁（八）高雲峰（三）の兩名が惡戯に投げたる小石が列車に命中したるものと判明し嚴重訓戒の上保護者へ引渡せり

◎漁業取締規則違犯

廣島縣安藝郡倉橋島村當時釜山府瀛仙洞上田長太郎方同居の佐々木才松（三）は去る十五日午後二時頃釜山草場町一丁目の沖合にて地曳網を以て鮎を捕獲せること發見せられ漁業取締規則違犯として二十一日科料金三圓に處せらる

◎村上夫人受章

故村上孝三郎氏の夫人は愛國婦人會創設以來熱心に會務に盡力し其の功績顯著なるを認められ此の程皇太子殿下より一等有功章を授與せられたり

◎十七回の改良を加へて完成した新案折疊非常持出箱

京城本町二丁目山本村太郎氏の考案なる折疊非常持出箱と云ふは諸官廳及び會社用として考案したもので特許局に登錄中なるが既に於て審査の結果有効新案なる事を認め登錄したとは既報の通りであるが考案者たる山本氏に就き其發明するに至つた迄の苦心談を聞くに氏は去る明治三十六年三月渡鮮直ちに京城に來り當時の統監府及び軍司令部通信局等に御用達として出入中各官廳に傭へてある非常持出箱が不完全の爲め持運びに極めて不便を感じて居ることを目擊し何んとかして優秀なる非常持出箱を作製せんものと決心し餘暇あれば之れが

◎研究を重ねてゐたが其結

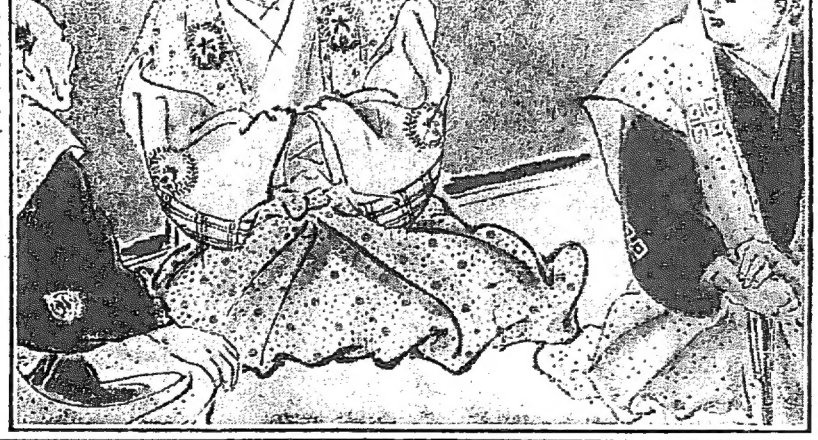
心は効を奏し網代非常持出箱を考案した然るに其特長と効用は世に認むる所となり全道の各官廳より多大なる賞讃を博し明治四十四年二月看府から千二百六十個の納品を命せられるに至りしも多少研究の餘地あるを發見し改來鋭意あらゆる作製上に苦心

◎肝膽を碎き研究を重ね

て十七回の改良を加へて大正五年冬に至り漸く完成し特許局に登錄申請の處賞用新案第四一七七號に登錄されたのである、箱は縦二尺六寸横二尺四寸、入一尺二寸の頑丈な體裁よく堅牢なるものであるが其折疊の結合の如きは實際簡單なる仕組にて何人にても僅かの時間にて組立つる事が出來、殊に平時に於ては平面の紙が緊張し得ると

◎非常の際は中央部の昇降

餘を降下すれば紙は自然に弛みを生じ双肩に掛られるやうになり一人にて約十八貫目迄の重量は容易に搬出することを得る、また箱の四圍は紙代に防腐劑を施しあれば幾十年經過するも腐朽の虞れなく、入分板以上の堅牢にして之れを解すれば横二人四寸幅一尺二寸厚さ僅かに六寸の平面に縮少し得ると以て鐵道其他に於ても如何なる山間僻地に至るも運搬非常に便なるものなり



明君道中記

第百二十五席　田邊南龍口演

井「恐れながら御諚御最には候へども大根が駿河忠長公で見れば斯く御供の内に若しや一味の者無之とも限らず、然る時は此の上もなき大事、慎みより火を放つ樣なもの故先づ宇都宮へ進軍の儀は暫く御見合せあつて只御身體を第一に守り其の上にて宇都宮城へ人數を遣め上野介を討取りますること左まで六ケ敷ことにも候はず、先づ御大切の御身の上を先に御用心有之て然るべくと存じます」

此實は何時でも出來る、先づ勝軍の

身の上を大切にしなければなりません、家光公も道理と思召し『然らば『掃部此の上の策は如何いたすのじや早々申し入れる樣、又掃部一人に限らず新古老若を論ずる場合で無い、誰にても名策あらば申せ、何じや』

『恐れながら掃部頭言上奉る、是は水戸家よりの御使ではございません、萬一斯くいふ掃部が取計ひましたることでございまする、實は是々斯樣の次第と、宇都宮城主本多上野介將軍家を討ち參らせやうと、城内へ新御殿を造へ釣天井をして上を害し奉らんといふ其の友事を悉く申し上げました、家光公は活潑な御力でございますから大いに怒り宇都宮城内の力をキツと見る『家』ウム憎い奴は上野、佐渡守正信に大德川の恩澤を受りながら今日駿河忠長を以て四代目の跡を襲せんと惡巧を巧み憎んでも餘りあるもの、只今より手廻りの同勢を從へ宇都宮へ進寄せを爲し一戰にして彼の城を踏潰して上野介の首を取つて持參に及び掃部頭

か御名案はござらぬかなぞ、と云つて居りまする、然らいよ〳〵處へ來る兎角名案はない、家光公も誰か良實を案じ出す者がありさうなものと一統を御覽なさる、各々心配をして居るが誰も恁うしたら宜からうと出る者が無い、スルと中にグー〳〵恐しい鼾聲をかいて居る者があります、何者かと家光公御覽になると、隅の柱に寄りかゝつて更紗の袢纏に打割

◎演藝案内

早川演藝部直營　有樂館　電話一〇番

四月十九日より特別興行　支那ヴォイチニスの紅白　京劇變ヶ十番

▲蓬西活劇「死の路」全三卷

▲女の一生に染つて來る、撃しき花園の夢は國風の感化に夢なく結ばれて、後は哀れな物語りの如くそれからそれへと進み行く後の結果は一本の短刀は涙多き悲劇を生み、飛行機の活躍を演じます

▲七赤　名刹故立の日蝕所行　學名弘求　求聞見上鄭國金剛寺　蘇吉　▲八白　さんちんかんの事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲九紫　大願成就の日蝕所行　學名弘求　名弘求　求聞見上鄭國金剛寺　蘇吉　▲一白　悪人は悪と思ふが如き事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲二黑　大願成就の日蝕所行　學名弘求　名弘求　求聞見上鄭國金剛寺　蘇吉　▲三碧　悪人は悪と思ふが如き事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲四綠　調子の狂ふ事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲五黃　力衰して反て貧賤せんとす新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲六白　一番の集る日　▲七赤　名刹故立の日蝕所行　學名弘求　求聞見上鄭國金剛寺　蘇吉　▲八白　さんちんかんの事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲九紫　大願成就の日蝕所行　學名弘求　名弘求　求聞見上鄭國金剛寺　蘇吉　▲一白　悪人は悪と思ふが如き事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲二黑　大願成就の日蝕所行　學名弘求　名弘求　求聞見上鄭國金剛寺　蘇吉　▲三碧　悪人は悪と思ふが如き事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲四綠　調子の狂ふ事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲五黃　力衰して反て貧賤せんとす新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲六白　一番の集る日

三三三

四月廿六日　九星　第三期　六日戊戌

本命二黑　地支引

△二黑　聚合ひけのする事有る日新事見合事力有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲三碧　靡にさわる事有る日新事手拭舊事は吉女子は行儀を守らるべし　▲四綠　調子の狂ふ事有る日新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲五黃　力衰して反て貧賤せんとす新事手拭舊事は吉伊信の せわ　▲六白　一番の集る日

人參エキスを親しまる方は一生健全也

知らぬ人なき人參エキスに

○八四一電可本店　京城　商會　村兄弟商會

無病長壽を希る人ありや

無病長壽を希る人ありや　繁して津村兄弟商會の

花柳病　皮膚病　須古醫院

京城府永樂町二丁目　電話二二〇二番

淡尿器科　外科一般　皮膚科　花柳病科

京城永樂町二丁目金光教會隣　院長　安部修三

安部醫院

電話四一九番

明大夜市

五月一日より開始仕候出店希望の方は至急事務所へ申込を乞ふ

大平通二丁目京城通信社内　夜市事務所　電話八七五番

大急告

全國商業家各位にして今到る處て飛ぶが如く賣行き煙草專賣局法に抵觸せず最も安全に賣れる

今日直ぐ專賣元に申込みて利益を得られよ

今日直ぐ全國て大評判

麻袋各種　ゴロス　其他空箱　梱包材料

京城漢商會　京城府旭町一ノ一　電話二五四六番

關西總轄支店

東京本所　振替東京三一五三九　長電話本所三六八八

專賣所

大阪市東横堀通二丁目　電話本所三六八八

桐生屋株式店

東京市日本橋區坂本町十八　振替東京三一五三一　電話三一五三一　三一五八一　三一五九番

芦川商店

仁川府岸町三丁目角　電話七五四番　振替京城一七八一七番

芦川漁具店

釣漁具各種　卸小賣

▲石版活版各色　▲印刷用インキ　▲謄寫版インキ　▲石版用ルーラ　▲製造販賣所

京城古市町（郵便所隣）

◎子供の齒を粗末に扱ふな

顏面の美を保つ爲めには、赤ん坊の時から注意が要る。

紐育母親學校教授齒科學士　エム・エル・リード女史講演

「若し私にアルコホルと齲齒と、どちらが最も惡い原因となるかと尋ねるなら、私は躊躇なく、齲齒だと答へる。」　ヴリアム・オスラー博士

此話は今日米國醫界の先覺者と呼ばれるオスラー博士の言はれたことであります。ちよつと聞くと大袈裟な話のやうですが、日日市井に起る喧嘩や、毆打や、殺人や、監獄裁判所の厄介事や、又は貧乏や悲慘な事や、そんなとんなのいざこざは、大抵酒が眼因だと考へると、オスラー博士の話は誠に尤もだと思はれます。

併し又た考へてみますのに、酒を飲む者は一家族――平均五人として――其中一人位でありますけれども、齒を病む者は決して一人位ぢやありません。アメリカの學校の子供の健康診斷の結果は、齲齒が九割となつて居ります。子供の齲齒がそれ程だとすれば、大人のそれの割合はもつと上るかも知れません。

さて齲齒といふものは、單に一時の惱ましい不自由丈でなく、其苦痛は人間の活力の大敵となります。

そして苦し其齒痛が續いて居れば、慢性の神經過敏になつたり、延いては家族の幸福や家庭の生活を台なしにしてしまふことがあります。

若しそれが子供だとすれば、學校の成績は惡く、ものづと休み勝になります。若し勞働者だとすれば、勞働が面白くなく、勉强しませんから、賃錢も少くなります。

齒痛は毒性齒のちりぢりと攻め込んで來る一つの症候で、其齒は時々刻々に繁殖して、齒を齲ひ荒らし、胃にまで侵入して、消化機能を妨げ、しかのみならず毒性齒を養生して全食管系の活力を低下するものであります。

さうして腐つて行く齒の痛みや、不正齒の不充分な咀嚼は、遂に消化不良を起すことになります。

それでは惡い齒と云ふのは、どんな狀態のものかと申すに、

一、所謂齲齒に罹つてゐるもの。

二、齒の出る時に石灰が足りなかつたもの。

三、正しい位置に生えてゐないもの。（不正齒、反齒、亂杭齒等）

等いろいろありますが、それでも早く齒の衛生手當をすれば、全く防ぎきれないものではありません。殊に大抵の齒の病氣は五歲迄に起るもので、――時とすると生れない先に起るもので、――之が豫防と治療とは、子供の學齡に達して二度目の齒の生えて來る迄に注意しなければなりません。

一世間の親御達は「乳呑齒なんかどうでもよい。生え代るのだから」と云ふやうな迷信や、間違つた考へを捨てて、齒の構造や其發達に就いて、ほんとうの事を知らなければなりません。

乳呑齒も二度目の齒も子供の生れる時は、ちやんと出來てゐるのでありまして、下顎の中には乳呑齒の數に生る二度目の齒が控へて居り升。是等の齒を造るには澤山な石灰分を要するのでありまして、乳呑兒は之を母親の血液中から吸取るのであります。そして此石灰分が母親の血液中に入るのは、母親の毎日喰べる食物又は自分の骨や齒からであります。

「自然は年寄つた者より若い者をいたはる」ものですから、若し母親が乳や小麥粉や麥粉や卵や果物や野菜やのみを攝取して、乳呑兒に適當な石灰分を送らないと、母親は自分の齒や骨を削つて之を供給しなければなりません。

赤ん坊は乳呑齒の生えかゝつてゐる間は石灰分を初は乳から、後には之を供給する食物から、其發育の時代と消化の必要に應ずる丈の供給を受る必要があります。

肉は餘り石灰を含んでゐませんし、小麥粉や、麥クリームや、クラッカー等には全く石灰分を含んでゐません。殼が多くのお母さん達は、お子さんの二三歲位の間、しよつちゅう此石灰分のない食物を與へて平氣でゐられます。

齒は發生の爲めには只石灰分の供給ばかりでなく、齒の中には澤山な液の循環がなくてはならないのですから、齒を硬くして、それから纖にでも書けて乾かすのです。それから一週間に一度位は齒刷子を外に出して大陽にさらすか、又は十分間位蒸立つた湯の中で消毒を行ふのであります。

元來齒を磨く目的は、其表面と齒間の沈着物を除く爲であります。齒刷子は齒に齒の表面を摩擦に見せるばかりでなく、齒垢を除く爲めのものですから、表面は者面よりも、早ければ、さうならないうちに防ぐことも出來るのであります。

でありますから、子供は一歲位から年に二度程は、定まつて齒醫者に行くようにして診斷して貰へば、齲齒を防ぐことが出來ますし、入重齒だの、又は汚れて行く齒だのを防ぐことも出來ます。

永久齒は乳呑齒の根を吸收して其ところが今日の兒童保護の役に在る方は、全く此邊の知識と注意を缺いて、私共の惡ふる所のものを益々助長させて行かれるやうであり升。例へば大抵の子供と云ふものは、よく指を咥へますが、それは危險なことであります。子供の指は甚度不潔になつてゐるものですから、第一に病氣傳染の危險があります。第二に、子供が指先をしよつちゅう咥へてゐる間に、上顎を推し出すことになります。さうなると、齒列を惡く、顎を醜く致します。

それから赤ん坊が乳や果實の汁のみで育てられてゐる間は、それが齒に着いて齲齒を起すこともあります。

さいふ場合には、突き出た顎になります。下顎と下齒は上齒よりも突出たり、又は「栗鼠顏」（出齒の事）と云つて、上齒が何本も下齒より突出したりします。

もう一つ赤ん坊を「栗鼠顏」にする原因は、赤ん坊が絕えず指をしやぶるのを利口さうに見えると思つて制しないでゐると、そんな事になるのであります。

それで、どんなお子さんにでも不正齒や、反齒を持たせてはなりません。是等の缺點は精神力や抵抗力の上に大なる影響のあるといふことが、今日はわかつて參りました。飯が喰へなくなる爲めに常に煩悶したり苦しんだりするものですから、さう云ふことにならない初に於て、早く治療するが必要であります。また手當が早ければ、さうならないうちに防ぐことも出來るのであります。

齒と齒肉の上を小形の軟かい齒刷子でこすることは大變いゝことでございます。それで今日では「清潔な齒は決して齲蝕にならない」といふことが證明されたやうになりました。清潔な齒と申しますのは、食片の殘つてゐない硬石の沈着してゐない齒のことを云ふのであります。

ライオン齒磨は粉末細微にして齒牙を磨耗せず科學的作用を以て、齒牙及口腔を完全に清掃す。

齒學上から云へば、毎食後齒を清潔にするのが理想なのですが、實際には就寢前と朝起きた時と、朝飯後に磨くのが一番宜しいと思ひます。

それで間食といふ惡い習慣――殊に酸物や砂糖の多いものを喰べる場合は、清潔にする方法は、齒刷子を使つたら、よく洗つて防腐液の入つた壺に半時間ばかり浸して、それから纖にでも書けて乾かすのです。それから一週間に一度位は齒刷子を外に出して大陽にさらすか、又は十分間位蒸立つた湯の中で消毒を行ふのであります。

元來齒を磨く目的は、其表面と齒間の沈着物を除く爲であります。齒刷子は齒に齒の表面を摩擦に見せるばかりでなく、齒垢を除く爲めのものですから、表面は者面よりも、早ければ、さうならないうちに防ぐことも出來るのであります。

それで、どんなお子さんにでも不正齒や、反齒を持たせてはなりません。是等の缺點は精神力や抵抗力の上に大なる影響のあるといふことが、今日はわかつて參りました。飯が喰へなくなる爲めに常に煩悶したり苦しんだりするものですから、さう云ふことにならない初に於て、早く治療するが必要であります。また手當が早ければ、さうならないうちに防ぐことも出來るのであります。

齒刷子の毛は密植されすぎて、農東にか分かれたものが宜しい。それが齒間を掃除するに適當でもあり、又使用後よく洗つて乾かせるにも便利であるからであります。

齒刷子を使つた後の始末は、よく水で洗ひ、次にお湯で洗ふのですが、それよりも良い方法は齒刷子を使つたら、よく洗つて防腐液の入つた壺に半時間ばかり浸して、それから纖にでも書けて乾かすのです。それから一週間に一度位は齒刷子を外に出して大陽にさらすか、又は十分間位蒸立つた湯の中で消毒を行ふのであります。

元來齒を磨く目的は、其表面と齒間の沈着物を除く爲であります。齒刷子は齒に齒の表面を摩擦に見せるばかりでなく、齒垢を除く爲めのものですから、表面は者面よりも、早ければ、さうならないうちに防ぐことも出來るのであります。

それで、どんなお子さんにでも不正齒や、反齒を持たせてはなりません。是等の缺點は精神力や抵抗力の上に大なる影響のあるといふことが、今日はわかつて參りました。飯が喰へなくなる爲めに常に煩悶したり苦しんだりするものですから、さう云ふことにならない初に於て、早く治療するが必要であります。また手當が早ければ、さうならないうちに防ぐことも出來るのであります。

齒磨は粉末細微にして齒牙を磨耗せず科學的作用を以て、齒牙及口腔を完全に清掃す。

齒刷子の毛は密植されすぎて、農東にか分かれたものが宜しい。それが齒間を掃除するに適當でもあり、又使用後よく洗つて乾かせるにも便利であるからであります。

齒刷子を使つた後の始末は、よく水で洗ひ、次にお湯で洗ふのですが、それよりも良い方法は齒刷子を使つたら、よく洗つて防腐液の入つた壺に半時間ばかり浸して、それから纖にでも書けて乾かすのです。それから一週間に一度位は齒刷子を外に出して大陽にさらすか、又は十分間位蒸立つた湯の中で消毒を行ふのであります。

元來齒を磨く目的は、其表面と齒間の沈着物を除く爲であります。齒刷子は齒に齒の表面を摩擦に見せるばかりでなく、齒垢を除く爲めのものですから、表面は者面よりも、早ければ、さうならないうちに防ぐことも出來るのであります。

それで、どんなお子さんにでも不正齒や、反齒を持たせてはなりません。是等の缺點は精神力や抵抗力の上に大なる影響のあるといふことが、今日はわかつて參りました。飯が喰へなくなる爲めに常に煩悶したり苦しんだりするものですから、さう云ふことにならない初に於て、早く治療するが必要であります。また手當が早ければ、さうならないうちに防ぐことも出來るのであります。

ライオン

（第三種郵便物認可）（明治四十九年八月十日）

大正六年四月二十五日　THE KEIJO NIPPO　第三千四百五十號（一）

京城日報

四月廿五日（夕刊ヒ合せて八頁）

本紙定價　一部金五錢　一箇月分金一圓二十錢　一箇年分金三拾六圓

廣告料　▲五號活字十行二十字詰一行金八錢　▲三號活字十行二十字詰一行金二拾錢　▲六號活字十行二十字詰一行金貳拾錢　▲七號活字十行二十字詰一行金拾錢

發行所　京城日報社　電話一番

印刷人　小川三之介　京城本町一丁目

露國財政の現狀

流通貨幣九千九億五千留

露國商工新報の報ずる處に依れば露國戰時政府は露曆三月七日附を以て露國立銀行に紙幣二十億留の發行權を與へたりと公布したるが此の紙幣發行するに就ての顛末は左の如し元來二十億留に關する件は前政府が議會に提出したる法案にして這回新政府が議會の協同を得て實施したるものなり前大藏大臣ペーエル、バルク氏は軍事費の增額及び國庫が國立銀行より借入れたる負債償還の爲め

△紙幣の擴大

を必要とし從來の國立銀行の紙幣發行權に更に三十億留の擴張案を昨年十二月五日下院に提出せり然るに軍食は間もなく休會となり耶蘇降誕祭（日曆一月七日）迄審議を延るに至らざりしが昨年の暮末に際しては他年の如く紙幣の流通高全部に達し國立銀行の發行したる紙幣の殘額は殆ど絕滅に近からんとせり茲に於て財政上の非常手段として臺法第八十七條の發動に依り十二月二十七日十億留の紙幣發行權を附與せり本年二月十四日議會は十億留の擴張案及び財政の聯合委員會は紙幣發行權擴張に關する十二月の議案審議を開始し憲法條令に依り客臘十億留の紙幣發行を許したる前藏相の計畫せる三十億留に算入すべき事を決議し之れと同時に委員會は國立銀行紙幣發行權に更に廿億留擴張する事を下院の院議に附すべく決議せり故に這次の紙幣發行權二十億留の擴張に關する命令は下院聯合委員會決議に依れる力多し

△今過古戰爭

に於る紙幣發行擴張の略史を觀るに露國立銀行が第一回紙幣發行したるは千八百九十七年八月廿九日の法律を以て極めて制限したる範圍內に正貨の保證をし總額三億留の紙幣の發行を許可せり然るに戰爭勃發當時（千九百十四年七月廿四日）勅令を以て直ちに之れを十二億留に擴張され之れに依り取引關係を有する商工業者等が一度開戰の警報に接するや私立銀行の備へ入る商店の事業が戰爭開始後の一週間內に多額の現金を需要したると他方には國庫が現役陸海軍戰備のため莫大なる資金を要したるに原因せり千九百十四年末には國內既に

△戰評に歸し

商工業者は戰爭に伴る新しき經濟事情に適應せんと努力したる結果開戰當時國立銀行の小片を含める褐赤色砂質土壤中に

△東北窪

莊河を距る東方約三里にして老金山の東に位し東南一里にして海に達す地質は片麻岩及び粘板岩より成り砂金は

△黑島

青堆子の南海中に突出したる半島にして吳家屯、穗山、楊樹官兒、屬子石等の砂金地花園等の半島の北部莊河を距る約三里に存す櫻山は

△頭道溝

帽魁山の北莊河の一支流の頭部にあり南莊河を距ること約十里なるが地質は粘板岩、硅石及び石灰岩より成り粘板岩は雲母片麻岩の如く變質するものあり同地より北千家屯へ越ゆる小嶺に於ては石英粘板岩を露出し鑛床は砂金にして河床は一面の砂礫にして飛鑛を含む河床は一面の砂礫にして飛鑛を含む

△後場の手振

△㊀の能く買ふ

△㊁の大商內

鵲巢居を後に

蘇峰生

京釜線金泉驛より歷上

四月十七日、京城に於る一切の要務を了し、午後四時、北門下の鵲巢居に還れば、途中の清風溪より白雲洞に到る迄、連翹の花咲き溢れ、恰も黃金の海を、驟雨より降すが如く。而して隨處の杏樹、既に三分の開花を相成、得も云はれぬ風情に候。鮮人貧販者の背上にも、幾枝の連翹を挿み候。子は爰時、鵲巢居の縱側に腰打ち掛け、俯して脚下の山泉が、巨石を繞りて、停蓄、迂洄するを眺め、仰ぎて山瓜に白衣の鮮人が、林檎園の手入をなしつゝあるを見、殆んど陶然として、沒我の境に入り候。云はゞ京城も、此れからが花の世界に候。杏花は其の凜梅に及ばず、什麼桃に若かざるも、其の中間に清麗の風神を占む。北地の花としては隨一也。元道山が、「獨愛寒梅」恐求公の一句、杏花の爲めにしたる歸護と可申歟。而して櫻花も、今後四五日の後なる可し。予が手栽の吉野櫻も、既に滿枝の蕾蕾を著け居れり。曾て『好是奔波南北客。一年兩度見櫻花。』と詠じたるが、本年は所度は愚か、既に東京の花に背き、今復た京城の花に背く。畢竟花に緣なきものと、斷むるの外なく候。

斯くて重き足を引きづりつゝ、遲々として鵲巢居を出で、午後七時五十分南大門發、十八日午前一時半金泉驛に著、半泊妓候。此れより自動車にて、十六里居昌に赴き、それより八里、馬背、若しくは徒步にて八里海印寺に赴き、今夜は同寺に投宿の豫定に御座候。金泉は京釜線第一の高地たる、秋風嶺驛の南、第一次の驛に候。匆々不一。

大正六年四月十八日午前六時半

中立地帶金產地（二）

△滿洲に於ける

△郭家莊

莊河の東約三里敬盛山の東麓に在り老金山の西北に方り老金廠產地を距ること二里に過ぎず地質は片麻系と前寒武里亞層とより成り硅石と片麻岩の接觸點にして何れの岩石も黃褐色水酸化鐵を以て被覆せる而して砂金は激流日の構也に於て石英及び片麻岩

△大河套

郭家莊の東約一里程の地を流るる河名なるが此河は前寒武里層を穿ちて流れ任家莊附也に於

吳家屯の西北一里强後の二者は其南海岸約一里を距る處に在り此等一帶の地は花崗斑岩及び前寒武里亞の硅石並に粘板岩より成り吳家屯及び楊樹官兒の溪谷は兩者の接觸部にして雲母劍岩狀の岩石及び石英派の露出するあり而して其鑛床は砂金にして兩者の接觸部及び花崗斑岩の分解土中に含有せられ其粒稍々大なり又櫻山及び屬子石附近は前寒武里亞の硅岩粘板岩より成り砂金の多くは海底沈積に係る砂金にして海底の下一尺乃至四五尺の土砂中には往々大塊を發見す

△頭道溝

帽魁山の北莊河の一支流の頭部にあり南莊河を距ること約十里なるが地質は粘板岩、硅石及び石灰岩より成り粘板岩は雲母片麻岩の如く變質するものあり同地より北千家屯へ越ゆる小嶺に於ては石英粘板岩を露出し鑛床は砂金にして河床は一面の砂礫にして飛鑛を含む

△佛上人近什

春動く春となり行く春動く子供達が馬車を道切る野梅咲く梅は知恩かき風の强き日や山焼くにまだ早き春を溫泉籠りて

春漫き日も落ちて根笹噪る嶺や木負ひ戻りの密柑賣

梅林と稻飛ぶや拍尾花立つ

溫泉に籠りしかさびれ行く古名の梅寒し

春雲の得度しけるに

春の白む春となり

梅の白む春となり

梅の白む春となり

梅

◎唯だ攻撃の一途耳

講和提議當時に於ける三國代表者の決議

墺太利が獨逸と一致して講和提議を試みたる時に當り英佛伊三國の代表者は密かに佛國西里昂附近なる小都邑サン、ジャン、ドモーリエンスに會合したるが其結果三國政府の間に堅固なる結束成りたる事此の程に至りて發表されたり即ち三國政府は一致の行動を執るべき必要上協商側各國の事情を細密に打明くることを誓し且つ獨墺兩國の講和提議に對して應ふ可き道は唯猛烈なる攻勢を執るにありといよ〳〵一致し更に軍事外交其の他有ゆる問題を詳細に研究し確乎來戰爭が協商側各國に齎す結果如何に重大なるとも決して屈することなく飽迄戰爭を續行し飽迄先國の目的に正當と認めらるゝ領土擴張の件に關しても意見の一致を見たりと（巴里電報）

◎墺國内反獨熱猛烈

墺國内各地騷擾騒然にして会々騒乱の兆あり一般輿民の反感甚だ其の極に達せるため墺國皇帝も斯れが鎮撫の必要上國論を尊重し今や極端なる反獨態度を執るに至れり（路透電報）

◎洪國革命益々擴大

洪牙利國に於ける革命は愈よ其の區域を擴大し今やブダペスト及び二十五都市は殆ど戒嚴令を布けり狀態にあり（紐育電報）

◎軍國主義を滅絶せん

華盛頓來電＝米國は獨逸の講和提議の爲めに迷はされる事無く普魯西の軍國主義を飽迄滅絶せざるべからずとの決心堅し（倫敦電報）

◎ウルグアイ國動員

南米ウルグアイ國は動員令を發せり（路透電報）

大統領英外相會見

華盛頓來電＝大統領ウイルソン氏は白邸に於て英國外相バルフオア氏と會見し懇談四時五十分間に亙り後バルフオア氏は正式に諸所を訪問したり（紐育電報）

◎英軍奮進陣地占領

倫敦公報に曰く英軍はスクラベ河の廣大なる戰線に對して攻撃を開始せるが先頭は遮撃無く進展し英軍は既にバプリンクールの大部分を占領せり（紐育電報）

◎定例閣議内容

二十四日憲兵閣議を内閣に開會者相以下各大臣列席先づ後藤内相より選擧の結果に就き報告する處あり次で本野外相は外交の經過に就き報告し後對議會策に就き種々協議し終て左記諸件を決定正午散會せり（東京電報）

一、軍人服役令中改正の件
一、海軍高等武官準士官服役令中改正の件
一、第一準備金補充費の件

◎議會召集決定

開院式は廿三日

特別議會召集は二十四日の閣議に於て六月二十日召集二十三日開院式擧行の事に決定せり（東京特電）

◎當選議員黨派別

内務省調査

内務省の調査に係る當選議員黨派別左の如し（東京特電）

政友會　百五十九名
憲政會　百十一名
國民黨　三十六名
無所屬　六十七名

◎地方長官會議

政府は總選擧も一段落を告げたるを以て恒例に依り一應地方長官を召集して會議を開くべき多分五月十五日頃を以て開催の事とすべし又目下の處全然未定の模樣なれど若し地方長官の更迭を爲す事もならば種々の事情上六月の臨時議會後となるべしとの觀あり（東京特電）

◎對敵禁令と内閣

二十三日内閣は左の通り發表せり我帝國は聯合國と戰鬪上に於て協同するのみならず經濟上に於ても協同するの當然なるを認め襄に阪谷男を派遣して巴里に於ける聯合經濟會議に參加せしめたるが續いて其決議實行上審議の爲め實行委員を設けたりしが同委員會に於ては先づ右實行事項中戰時に對する措置に付き對敵取引禁止令を制する事となり該原案は勅令として二十四日の官報にて公布せられたり（東京特電）

◎鐵道公債内定

金額二千萬圓

政府は鐵道公債二千萬圓を募集するに決し既に内交渉を開始せるが一部の界隈の際として顧る前景氣良く來月中旬頃發表の際定なりと（東京電報）

◎若松市不信任

若松市の選擧投票併票の際選擧管理者若松市長若松市長は柴四郎殿閣下の一票を無効と爲せる爲め柴氏落選となりたるは不公平の處置なりとし二十三日若松館に市民大會を開き市長の不信任を決議し實行委員十餘名を選び辯護士前田氏は行政訴訟手續を爲せり（東京特電）

◎御慰問使著釜

朝鮮總督府、朝鮮駐劄軍司令部、朝鮮憲兵隊司令部、第一九師團司令部及び各部隊、鎮海、永興兩防備隊視察並に在鮮勅奉御慰問の爲め天皇陛下より御差遣相成たる侍從武官長陸軍大將内山小二郎氏は二十四日午後九時入港關釜連絡聯絡船壱岐丸にて釜山上陸直ちに鎮海ホテルに休憩中東本願寺汽主大谷光演氏に對し殊勝を奏換し同十一時釜山驛發列車にて京城へ向へり因に同氏慰問使に恩賜の酒肴料及巻煙草を捧持し居り夫々傳達する由なり（釜山特電）

◎辭令

二十四日左の如く辭令あり（東京特電）

陸軍一等軍醫　井上　日德
任朝鮮總督府道惠惠醫院醫官（六等）
總督府鐵道局書記　河合治三郎
任朝鮮總督府考事補（七等）

◎德富上院議員歸京

貴族院議員德富猪一郎氏は朝鮮總督府鐵道局書記　河合治三郎氏京城より歸京の途次國山に立寄り二十四日午後一時新橋驛着列車にて歸京せり（東京特電）

◎御慰問使と諸式

朝鮮駐劄軍各部隊鎮海灣永興灣要塞及び海軍部隊の軍情視察並びに御慰問の爲め現地に赴き邊りより御差遣相成たる侍從武官長内山大將は愈〻二十五日午前八時五十分南大門驛着直ちに秘書官長德富猪一郎氏と共に自動車にて本町通を過ぎ

高麗丸より降る大谷光演法主（帽を戴けるが法主、次が随行長南條博士）

◎法主には、朝鮮の風物に痛く感興を催しつ

釜山別院に於ける親教、歸敬式

眼に觸るゝ物何れも俳句の取材

既報の如く東本願寺法主大谷光演伯は二十四日午前八時四十分多數官民等に信徒の盛んなる出迎を受け釜山に到著したるが此の日東本願寺別院にては午後一時より法主親教並に歸敬式行はるゝ可きを以て前日來より種々の準備を整へ本堂及び山門の周圍には

◎紅白の幔幕を張り

廻し階段には雪白の淸布を敷きて法主の來著を待ち受けたり法主は定刻前條博士以下隨行員と共に腕車を聯ねて別院に到り先づ當日早朝より詰めかけたる善男善女に歸敬式を行ひそれより親教に移り式を終て南條博士の副使あり三時半法主は沿鑑事其他の隨行員並に釜山別院の信徒より出迎の諸氏と共に貿易商豊田福太郎氏の

◎招待にて東萊温泉

に赴く可く一番の電車を借り切り一同之れにて東萊に向ふ途中朝鮮特有の砂地、禿山、畑地に牛を追ふ農夫、藁の温突の屋根に止まれる、農家に婦女の立働けるを、長き煙管を口にせる鮮人さては東萊城内に見ゆる朝鮮古來の建築等總て目に觸るゝもの野趣に富み俳句の取材たらざる無きに法主は殆く興趣を催され手にせるノートブックに利那々々の

◎四圍の印象を記し

側らなる隨行中の沼氏、橋、聚津水棹の兩拝人又は其他の人々を顧みて種々の質問を發しつゝ始めて見る朝鮮の風俗に非常なる滿足を覺ゆ爾て東萊温泉場停留場に著すれば當日法主の足を留む可き萊薫主人其他信徒の人々多數の出迎あり

◎法主は豫て用意の

朝鮮式の轎に乘り萊薫館に入り暫時

◎準備成れる東本願寺

客殿奥の間に珍什古書畫を飾る

大谷光演法主を迎へる爲京城本願寺別院にては數日前より手立ちたる信徒の客係員は

▽晝夜兼行の

愛にて準備を取急ぎ居れるが廿四日午後に至り大體の準備成るを待ち先づ御繰式の爲めに本堂の廊下に床を作りて花筵を敷き階段にも板を敷き庭式の場及び本堂には虎皮商會より寄進したる緞子の幔幕を張り廻し

▽色彩美しき

緞子の幔幕を張り乳彌壇と祖師七人の前には大環珞を飾りたる燈燈を新たに獻げ法主の座席も新たに出來して設けられ幾人もの華師は技術を盡して其

▽堂内を淸掃

廊の大なるを悅び合へり法主の御恩せらるゝ客殿奥の間は幾多の珍什古書畫等にて裝飾を凝らし多くの花盆栽等を並べありたり

▽書畫

は既に寧息して死亡し一人は重傷にて公廨の手當を受けしが生命には別條も無き餘程の重傷なりと

◎法主入京

今廿五日朝

一時各寺僧侶徒等多數の出迎を受け京城に向け出發せり（釜山にて電）

東本願寺法主大谷光演伯は廿五日午前八時五十分南大門驛に入京多數の官民信者に迎へられて旅館朝鮮ホテルに入り約一時間休憩の後總督府に訪問し同十一時三十分頃南山本願寺に入らるゝ事となる可しと

◎荷車を輓いて盜み歩く

京城南米倉町後藤[illegible]は四月十九日午前二時頃太平通二丁目小林半方の荷車一臺（八圓）を窃取し序に同家の乳母車一輛（五圓）を窃取して車上に積み次に同町安[illegible]方の招牌一枚を盜取して之も荷車に載せ次は李風龍方の滿鮮一枚壞乘箱一個も同様積み恰も引越荷物の如く装ひ各所を引き廻し外數箇所にて夜間用の車輛止めの差金十二個其他を窃取して通行中本町警察署の巡査に取押へられ留置取調べ中亂暴を極めて手に負へず身柄は此程檢事局へ送られたり

◎觀櫻列車運轉

▽乘客休憩所の設備

京城南大門驛より天滿宮恒例大祭は二十五日午前三時十分執行せらるべく式典後奉納餘興として宮角力、博多仁輪加等種々の催しあるよし

鐵道局にては來る二十九日（日曜日）牛耳洞及加五里行花見客の便を圖り臨時列車を運轉する筈なるが既報の第二回目の列車は乘客多數にて左の臨時列車及び牛耳洞行に便利なる普通列車の發着時刻を再記すれば

南大門驛著　列車（三三等）
午前八時十三分
午前九時三十分
倉洞驛著　通過
南大門驛著　列車（三三等）
午前九時三十分
午前九時三十分
倉洞驛著　臨時
午後三時四十分
午後四時十五分
倉洞驛著　臨時
午後四時二十五分
午後四時二十二分
倉洞驛著　通過
南大門驛著　列車（三三等）
午後四時十分
午後五時十分

◎土砂崩壞して四人生埋め

去る十六日午前十一時頃全南麗光郡道路改修に從事せる同邑內居住、朴同（一九）外一名の四人が麗光小學校敷地內に在る土砂を採掘して道路工事場所へ運搬すべく鶴嘴にて土砂を採掘中突然二間計りの上層より土砂崩壞し來れる爲め四人は生埋となりたれば附近の者は大いに驚き直ちに救助に著手し土砂を排除して救出したるも右三人

◎スミス氏鳴尾にて飛行

烏人スミス氏は廿八九日兩日阪神沿線鳴尾飛行場にて飛行すべし（大阪電）

◎一寸の奥の手

市内商店荒し

神戸市元町五丁目生れの玉水光太郎（三）は詐欺取財に依り昨年三月中神戸地方裁判所にて懲役八箇月の處分を受け滿期出獄したるばかりにて滿鮮入京し永樂町二丁目の親戚を便りて同居せしも一定の職業もなき爲め不在なるを幸ひ同家の小黑板に取り付け先の名前を書き並べあるを一讀し賊心を起し勿體振りて同家の[illegible]倉洞驛前に天幕を張り乘客の休憩所に於て又牛耳洞には救護班を設けて萬一に備へしと

◎苦力（クーリー）

逞しき腕

▽浅黄木綿服

▽赤手世界を

▽廣い滿洲を

▽目分の繩張

▽二兒燒死す

▽米穀の詐欺

▽苦力の詳れ

◎盆栽陳列會

◎一寸の奥の手

購買入札
三萬五千個
右賄買ス詳細ハ大正六年四月二十五日以後ノ朝鮮官府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

京日案内
一日一回
電話長三〇三番
振替京城三七二番
時計　正午堂
京城本町二丁目

京城南大門通り農銀裏
司生堂醫院

京城南大門通り
マッサージ
京城黄金町一丁目
平田商店

京日案内
通五十銭
番外一回前金
（電話に依る場合は倍額）
番外
通
携帯者は婦人用希望の方は履歴書
京城旭町
電二五四一番
酒井商院

京城本町一丁目
時計商
正午堂
電話長三〇三番
振替京城三七二番

恩給
年金
低利
最長
即時
並金錢
京城大平町一丁目
朝鮮産業社

勸業債券高價買入
京城大平町一丁目
朝鮮産業社

江州屋本店
京城黄金町一丁目
電話一三四番
787
高木旅行用具店

外交員
朝鮮研究會
石川醫院
994

多利
京城本町一丁目
石川醫院

見習看護婦募集
京城本町
石川醫院

魔法瓶取替
京城本町一丁目
電話一三四番
787
高木旅行用具店

ほねつぎ
一切の治療御依頼に應ず
明治町
柔術道場
746

宮内省御買上品
原料香水
オリヂナル
一番いゝ匂ひは
星の數程ある香水の
廣い世界に只一つ
本舗東京　安藤井筒堂
代理店大阪　藤森源之助

漁網。釣具一式及附屬品卸小賣
網類賃貸及修繕大勉強仕候
京城櫻井町壹丁目
網京商店
通信販賣部

資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）
諸積立金二十四萬百圓
株式會社
朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
電話五五八番　振替京城一六三四番
一般銀行業
倉庫業
銀行長　趙鎭泰
支配人　豊田明敬
南大門支店　電話一〇六四九番　振替一〇六二番
本町支店　電話一七〇二番　振替一五八〇六番
仁川支店　電話一〇六四九番　振替一〇六二番
平澤支店　電話一五八〇六番
東大門出張所　電話一八六三番

休業廣告
明二十六日東本願寺御門跡猊下
並に隨從諸師の御來館に依り臨時
休業仕り候
大正六年四月二十五日
青木堂樓上
カフエーライオン

京都染物悉皆
萬染物、印物引幕
形付友仙染及色揚
洗張、湯のし
京都黄金町一丁目
三井物産合資會社
勝山染洋工部
電話二九三七番

安東縣有志の招聘に依り四月十五日より約三週間
久枝肛門病專門醫院
京城旭町二ノ六
東京パイン萬年筆出張所

▲南大那地方は昨年[illegible]

怒濤の月

百四十五　小林躑躅作　武内桂舟畫

葉櫻の蔭(三十八)の六

上げた新奥様を相手に廻はしてのお花見臺の食合と來ては、窃聞き爲る方の人間だつて、萬更氣の抵めないと云ふ筈はありませんからね。それもですね、先生の前ですけれども、私一個の酷狂とか、惡計があると云ふのぢやないので、貴方が然う御立腹なさるなら稼内で貴方に丈お話を申しときますがね、實は、内の御面様も、尋常一様の縁でないと云ふ事は、尋常一様の縁でお在遊ばすに違ひないんです。その證據には即ち、此の塚本にですね、乃公の目に掛けやう。』

『ヘッ、へ、へ、證明を立つて見せると仰有るんですか先生、そりや何方でも宜う御座いますが……私がその御他を勧めるのは眞平御免ですね。』

『では君は、好い加減な事を言つて人の名譽を毀けやうと爲るんですか。』

『然うぢや御座いませんよ、先生、私も男と生れた甲斐には、彼あ云ふ美しい奥様から先生のやうに可愛がられて見たいと思つて、つい義ましさと嫉ましさの餘りに……ね、内所に爲く事までお饒舌して了ひました次第でさア。いや、お氣に觸りましたら、是位でもう何にも申さずに引退ると致しませうか。』

塚本は、嘲笑ひながら、竹帚を提げて、空を掃きながら花見臺を降りかゝつた。日は何時か森に迫つて植込みの邊りは、漸く夕闇の色が深くなり初めて來たのである。

『まッ、待ち給へ塚本君。』

幸三郎は、彼の言草が癪に障るを迎に爲て居るので、此の儘には赦しがたき奴と思つたのであらう。降りかゝつた後の頸首を掴んで、思はず一二三歩引戻した。

『なッ、何を爲るんです先生、失禮な